

会員の皆様へ:年会費納入の情報:郵便封筒の宛名下の数字参照。2024は 2024 年度分納入済

しのばず自然観察会より 2024-12 2024.12.04

2024年12月の活動 不忍池 水鳥個体数調査 12月22日(日)



集合:午前9時30分 不忍池 藤棚ベンチ

緑の小旗あり(弁天堂南隣 藤棚は蓮池へ
突き出す小スペースでベンチ・テーブルあり)

時刻厳守、今回は雨天実施

持ち物:筆記用具、双眼鏡、飲み物、雨具

(マスク、敷物、昼食、数取器、防寒具)

解散は午後1時ころ、上野動物園西園にて
参加費不要 動物園入園料は会で負担します
数取器を必要とする方は、前日までに小川へ

1月の活動は12日(日)、不忍池定点観察の予定です

不忍池定点観察 2024年11月10日(日)より

昼過ぎから雨の天気予報のもと、9名が参加、池の近くに住む方が初参加されました。途中、霧雨がぱらついたものの、お天気はもちました。渡り鳥はオナガガモ、キンクロハジロ、ホンハジロ、オオバン、ユリカモメが見られました。オナガガモは換羽前の個体が多く、オスとメスとの識別が難しい色合いでした。

不忍池ではカワウが繁殖期を迎えつつあります。ヤナギなどの枝を巣に運ぶ姿が先月同様に見られました。ただ、コロニーが妙に静かなのです。昨年も秋のはじめまで静かでしたが、11月には雛鳥の音がうるさく聞こえました。今年の11月には雛の音が聞こえず、雛の姿も確認できませんでした。暑い夏のせいで繁殖が遅れているだけならよいのですが。

なお、東京都北部公園緑地事務所からの連絡で、蓮池の枯ハス刈りを、今冬は例年より早く年内に始めたいとのこと。近年、カモたちがボート池を越冬地として利用している状況から、冬の蓮池のハス刈りがカモを不忍池から追い払う危険はないと判断して、同意しました。

確認した鳥:オナガガモ、キンクロハジロ、ホシハジロ、カワウ、コサギ、オオバン、ユリカモメ、ヒヨドリ、ドバト、スズメ、ハシブトガラス、オナガ

その他の動物:コイ、ヤマトシジミ(蝶)、種類判別ができなかったトンボ、カネタタキ、エンマコオロギ

開花・結実:ジュズ、アシ、シマスズメノヒエ、雑種タンポポ、セイタカアワダチソウ、ノゲシ、メヒシバ、オヒシバ、キンエノコロ、ユッカ、ワルナスビ、オシロイバナ、タイリョウザクラ、十月桜、ハギ

☆前号の通信で記録した「カタバミに似た薄いピンクのオキザリス」について、「多摩川の自然を守る会」の柴田秀久さんより、「インカカタバミ オキザリス トライアングラリスだと思えます。字の通り、南アメリカ原産の外来種です。芋カタバミのように、鱗茎で非常に殖えやすいので注意が必要です。」というお便りをいただきました。ネットで検索してみると、オキザリス トライアングラリスという名前で、紫色の三角形の葉と薄桃色の花を付けた写真が出てきました。柴田秀久さん、ありがとうございました。

しのばず自然観察会50年史 進捗状況

原稿がほぼ出そろったので、谷中にある出版社へ相談に行きました。ページ当たりの字数が確定していませんが、モノクロ印刷約 200 ページ+カラー印刷約 80 ページ程度になりそうです。印刷に回す最終原稿を 4 月までに完成させるのが、当面の作業日程となります。

10月の活動参加者に原稿を持ち帰り読んでいただき、指摘された部分の修正を行いました。いよいよ文章・画像のレイアウト、装丁ほか編集作業が本格化します。しのばず自然観察会創立 50 周年に当たる2025年9月15日が出版日の目標で、残りあと 9 か月です。まだ、タイトルも表紙のデザインも確定していません。アイデアをお寄せください。会が負担できる費用の範囲での作成になりますので、できるだけ安く上げるため、装幀・デザイン等も、可能な限り自前で行うこととなります。こうした編集、校正や、発刊後の運搬・発送等、皆さまの知恵と力をお貸しください。(小川潔)

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL:<http://sinobazu.extrem.ne.jp>
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000 円

2023 年以前の会費未納の方もお忘れなく! 退会の場合は早めに葉書で事務局へ

2024年11月10日の観察会から 小川千恵子

9:23 曇り 途中で2回小雨。

ハンノキの下にドバト17羽。オオバンが池の端を南下して目の前で陸に上がって草をついばむ。草は一面4~6cm位の丈。少しすると男性がズカズカと大股で歩いて来て、手すりのそばに寄る。オオバンはあわてて水面に降りる。

ピーピーとヒヨドリの声。ドバトが数羽飛んで来ると、地面にいたドバトも一斉に飛び立ち旋回し始める。ユリカモメも一斉に飛び立ち、旋回し始める。

水面を一群のキンクロハジロが、池の北側から南へ泳ぎ出す。動物園の中のサル達のすごい鳴き声が響く。公園の北西の端の高い樹々の方からオナガの鳴き声が何度もする。

浮き橋から

キンクロハジロ58羽は首を背にまわして丸くなって眠っていたり泳いだり。ひっくり返したボートの南の池面にキンクロハジロ6羽、ホシハジロ6羽が、北の方へ泳いで来る。オオバン1羽が他の1羽を追いかけて南の鉢の方へ行く。身体が半分浮いていて、バシャバシャと水の音をたて、すごいスピードで。

ユリカモメがひっくり返したボートやくいの上にいる。

オナガガモ5羽が、目の前の水面に見える。池北の陸に上がって休んだり、ひっくり返したボートの上にいたり、水の中のイカダの上で丸くなって眠っていたりで、ここでは計34羽、合計39羽。キンクロハジロは計62羽。

サル声は全く聞こえなくなった。スズメが動物園の境のフェンスの下や木の上で、鳴きながら飛んだり、地面の何かをついばみながら飛び交う。20羽ほど。池北陸地のイネ科は刈られて、ほぼ20cm位の丈のやわらかそうな細い葉が伸びている。刈られた草は茶色になって横たわる。

ハンノキに戻る。ハンノキはオバナがたれ下がる。タチアオイ丈40~50cmの緑の葉が広がる。新しい株は薄緑色の葉。虫に食われた葉がいっぱいの株もある。セイタカアワダチソウは、まだ咲いている。ガマの穂も残る。花が終わって頭先が白く見えるタンポポ一輪。

池南のひっくり返したボート付近で、オナガガモ20羽が東岸の方に近づいて行く。餌まき？オオバン2羽が岸に上がって草を食べている。ひっくり返したボートの南ではオナガガモが水に浮いた何かを食べている。

集合地

ヒヨドリとシジュウカラの鳴き声がある。カンナは茎が伸びて、葉より上に出ているが、花も実も無し。菊は濃いピンクの蕾が少し開きかけている。オシロイバナ。

浮き橋手前で、野外音楽堂横のイチヨウの木のでっぺんの枝先に鳥がとまっていて、今日の新しい参加者に何?ときかれる。ふり返って双眼鏡で見るが、シルエットで黒く見え、何かは判別できない。ひと声鳴いてくれるとわかるのに。潔がカメラで撮って、見て、頭の形からヒヨドリ、と。

野音北側にある黄色に変わった葉の茂る木で、枝先が赤い木は何?ケヤキ、と潔。

池の北を見ると、蓮は背が低くなった感じがする。下の方は茶色。南側の囲いの中の蓮の背は余り変わっていない。橋の出口に、花のついたヒメジオンが2本。

下町風俗資料館の手前のアキニレは葉が黄色で、実は黄緑。ドバトの一群が旋回してアキニレの枝に集結。蓮池端には白いオシロイバナ。シマスズメノヒエ。

北上する。アキニレは実は薄い黄色、葉は緑。

エノコログサ、シマスズメノヒエ、タンポポ1輪咲く。ノゲシ? 白い花のワルナスビ、カジノキがたくさん出ている。

次のアキニレは葉が赤くなっていて実がついていない。雄株、と潔。次のアキニレは実が黄色っぽい、葉は緑。

タイリョウザクラ、緑のタグ524が付く。葉はほとんど落ちているが、新しい薄緑色のやわらかそうな葉が出ていて、枝先の葉は赤っぽい。その枝先に少し薄いピンクの花が咲く。枝先に2~3輪ずつ4個所に見える。下にタンポポ1輪咲く。

弁天堂手前の水が流れ込んでいる所。今日は2個所からかなりの量が勢い良く出ている。周りの蓮の葉の水際に、蓮の柄やハチスや茶色の物が溜まっている。ヤマトシジミが飛ぶ。桜、緑のタグ527。新葉が枝先に出ている。

弁天堂入口を入れてすぐの橋の上。南側の蓮池に赤いしっぽのトンボが飛び、橋下に入りこむ。止まった? 潔が杖でポンポンと橋下のコンクリートを叩くと、サッと出て南の方へ飛び、姿が見えなくなる。アキアカネかな?

屋台の北の藤棚の西の十月桜は、ピンクの小さな花びらの花が満開。

弁天堂前の南にはピンクのハギが咲いている。サザンカも咲く。

大藤棚ではジュズダマはすべて刈られて、茶色くなった茎が下に残っているが、その間から20~30cmの緑の葉が出てきている。ユッカは8本の茎に花が葉群からつき出て咲いている。もう1本まだ開いていない花芽の茎が伸びている。下にヤマトシジミが飛ぶ。

タンポポの葉が地面に這い、花が一輪咲く。地面にモゾモゾの動き。お尻に針のような長い突起があるコオロギ発見。長い突起は産卵管だから雌のエンマコオロギ、と潔。他の人に知らせようとしたが、エンマコオロギを見失ってしまった。

ボート池の北側を西へ歩く。

カワウが西にあるクスノキの方向に飛んで行くが、Uターンして東へ飛び、まわって再度クスノキへ向かって枝の中に入り姿が見えなくなる。すぐに出てきた時には大きな枝を1本くわえて東へ飛び、ボート池と蓮池の間の道の上を北上してカワウの島へ。

ハンノキの下に水仙の葉が集まって出ている。(朝には気づかず)

皆で座ったベンチから池を見ると、コサギがボート池と蓮池の間の木の上に止っているのが見える。

☆ヒヨドリの鳴きまね

Saさんからヒヨドリは鳴き声をまねると聞いた。お祭りのおはやしのリズムに合わせて鳴き、祭りが済んでもしばらくそのリズムで鳴いていたという。

10月23日伊豆長岡でのこと。キジバトが木の上に来て、ポッポウポッポウと低めの弱いやわらかい声でしばらく鳴いている。そこにヒヨドリが2羽、鳴きながら飛んで来て、キジバトはいなくなる。すぐまたキジバトが戻って来てポッポウポッポウと鳴き続ける。鳴きやむと、ヒヨドリがポッポウポッポウと何度か低めの野太い声で鳴いた。長く鳴き続けるわけではない。

☆シマサルスベリの件

以前、Taさんが野音北のシマサルスベリを見て、奄美のサルスベリは幹が黒かったが、ここのは白いと言っていた。もしかすると幹の皮のむける前とむけた後ではないかと連絡したところ、次のようなお葉書をいただいた。「奄美のは溪流沿いでした。神代植物公園は5月初めから皮は剥離し、下旬にはほぼ終わります。不忍も公園樹として樹肌の美しさから植栽されました。今後の観察が必要と思います」

来年5月から良く見ていこうと思う。お葉書、感謝！